

# よりぬき DUALIS 日誌

神学部神学科 長尾圭亮

私たち同志社大学図書館情報学研究会 DUALIS は、主に図書館司書課程を履修している学生によって結成された団体です。司書課程を履修している学生以外にも、本が好きといった理由から参加する学生もいます。現在は文学部や法学部、社会学部など学部学年問わず、約20名前後の学生が所属しています。

例年の活動内容は、週2回から3回の勉強会、図書館総合展へのポスター出展、各地の公共図書館をめぐる図書館ツアーの3点を中心としています。

今年度の活動としては勉強会と図書館見学会を中心に1年を通して活動を行いました。勉強会では、図書館司書採用試験の問題を使った勉強、ニュースサイトの記事やカレントアウェアネス等を用いた図書館情報の共有、毎回テーマを設定し各自がテーマに沿った本を紹介するブックトークなどを行いました。ブックトークでは本だけでなく、インターネット小説やツイッター文学などを紹介する学生もおり、新たなジャンルを知る良い機会になったと思います。また、新たな試みとして、ブックコートフィルムの貼り付け練習を行いました。こうした体験型の活動は初めてだったので、参加した学生には楽しんで作業してもらえたかなと思います。余談ではありますが、私がお世話になった図書館実習館において同様の作業をする機会があったので良い予習になりスムーズな作業ができました。図書館見学会では、5月と8月に国立国会図書館関西館を訪れました。例年の見学ツアーのように職員の方に直接お話を聞くというような機会はありませんでした。利用カードの発行や実際の利用を通して国立国会図書館について知って頂けたかなと思います。

その他の活動としては、ツイッターでの図書館利用体験や活動内容の発信、テストお疲れ様会など不定期のイベントも実施しました。また、司書課程科目のレポート作成の際に資料室を活用したり、学生同士で助言しあったりなど日常の学習や学生同士を繋ぐ場所として DUALIS を活用してもらえたのかなと思います。

最後に、今年度卒業の私たち4年生が新型コロナ以前の大学を知る最後の学年となります。新型コロナによる大きな空白期間によって DUALIS の活動も大きく様変わりしました。来年度の学生はこれを大きな転機と考え、今までの活動のやり方にとらわれず、新たにできることを探して図書館への理解を深め、大学生活を充実したものにして頂きたいと考えております。そして、こうして私たちが活動できるのは図書館司書課程を担当する教職員の皆様の多大なご支援とご協力があったものです。この場をお借りして深く感謝申し上げます。今後も引き続き、DUALIS に対するさらなるご支援とご協力をよろしくお願い致します。